



わらしべの里通信



「令和6年も1年間健康に」と願いこめ、豆まき



【今回の記事は、パソ工房所属の間・ペンネーム：混むがお伝えします】令和6年2月3日の土曜開所日。わらしべの家も豆まきを第1作業所の玄関で行いました。「仲間の会年間計画」の行事として組まれ、毎年恒例の鬼退治。今年で17回目になりました。

鬼さんも「びびく」

食堂で集まっていると、青鬼さん、赤鬼さん2人が支援員さんに呼ばれ、なぜか静養室から「みんな元気だったかな」とやって来ました。驚いた仲間たちは豆を持って、「鬼は外、福は内」と言いながら鬼さんを退散させようと豆をまきました。それでも「せっかくみんなのところへきたのだから、このままだい」と言っているかのように逃げていきません。そこに邪心を追い払う福豆バスーカーを持った男性がやってきて、天井に



鬼さんに豆を撒いています



鬼の親分さんとどんなことをお話しているのかな？



今年は鬼の親分さんが来てくれました！怖かったよー(泣)

向けて発射したとたん、逃げ出した2人の鬼さんとともに1年間の間に知らず知らず棲みついた意地悪い鬼さん、なまけ鬼さん、誰よりも自分をよく見せたい鬼さん、遅刻鬼さんなどもみんなの身体から逃げ出したような感覚になりました。

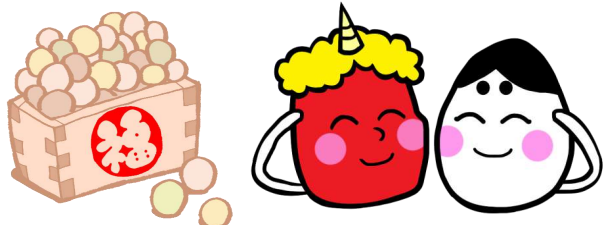
るため、昼食を食べようとしたとき、窓を叩く鬼の親分さん2人の姿が見えます。わらしべの家にはこれまで鬼さんが2度来訪したことがなく仲間たちは「あれ、あれ、鬼は外、福は内」と豆まきしたよねえ、と不思議がっていました。支援員さんが迫力のあまり？招き入れ、仲間たちに鬼をモチーフにしたお菓子入れでお土産のお菓子が配られました。混むには「今夜のおつまみに食べるんだぞ」と、渡されました。そして玄関で「支援員さんの話をよく聞いてまた1年元気で過ごすんだぞ」と言われ、どこかに帰って行きました。

鬼退治の後にはポウリング大会
鬼退治のあと、ポウリング場が変わったわらしべの家。この日、行われたペトポトルポウリングでは、1点・3点・5点と点数が書かれているペトポトルをピンに見立てストライクやスペアを狙いますが：なかなか思うようには倒れてくれません。それでも廊下をポウリングトールポウリングに、みんな楽しそうな様子でした。

鬼の親分さんのサプライズ訪問を受けた後、仲間たちは昼食を改めて食べはじめ、終わった頃から自由解散となりました。節分の翌日は立春。寒さにもお別れが近いようです。三寒四温で春を迎えたいですね。

まさかの鬼の親分が登場

感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避け





仲間たち令和6年の初詣に行きました



【今回の記事は、パソコン房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】わらしべの家の仲間たちは、令和6年1月13日午前中に初詣で栃木市の神明宮を訪れました。神明宮を訪れたのは、令和元年1月に行われたグループ外出以来のことです。例年だとマスクをしてみんなで1度に行くお参りもこの日は午後から積雪が予想され、寒さから身を守る観点から第1陣（14名）がお参りしている間は、第2陣（14名）が車内で待機していました。そのような配慮と冬の透き通るような青空に見守られ、拝殿を順番に参拝して今年1年健康に過ごせるように祈り、おみくじの結果に少し落ち込んだり、喜び表情を神社にいる神様に見せる仲間もいました。

ランチは、『うめえもん』を食べよう

お昼は、わらしべの家に帰ってきてから同じ方向を向いて座り、栃木市内にある「うめえもん」で注文した「鶏のから揚げ弁当」を食べました。定番のおふくろの味（しょうゆ味）で笑顔満開。食事を楽しみながら、新年の抱負を語る会が開かれ、仲間たちが書いた抱負を支援員さんが読み上げた



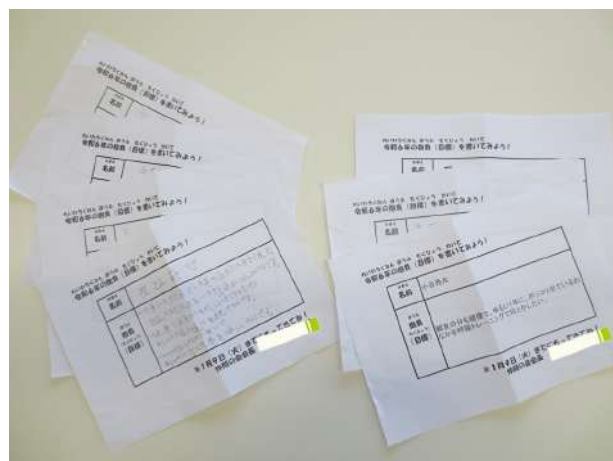
健康に過ごせるように祈っています



抱負を発表する仲間



仲間の会会長が抱負を発表しているところ



みんなの抱負が書かれています

り、仲間たち自身で発表した「令和6年の抱負」に耳を傾けていました。

今年の仲間たちの目標は

仲間たちの新年の抱負は…「作業を前向きに頑張りたいと思います」、「親友の分も、健康で明るい1年に。ポツコリ出ているおなかを呼吸トレーニングで何とかしたい」、「1. 何事にも挑戦し積極的に自分の意見を述べたり、仕事に一生懸命取り組みたいです。2. 健康に気を付けながら、いつまでも自宅からわらしべの家に通い続けたいです。3. コロナや風邪をひかないで、わらしべに行く。欠席を減らしたいです」、「1年間、日記を書きます」、「仕事を頑張りたいと思います。友達がたくさんできますように」、「ハートネスの作業、ボールペン組み立てがんばる」と仕事や生活のこと、普段から思っていることを目標にあげている仲間が多いようです。

感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるため、昼食を食べ終わった頃から自由解散となりました。来年度は誰ひとり休むことなく、仲間たち全員で初詣に行けるといいですね。



令和5年のクリスマス会開催される



仲間たちを見守るクリスマスツリー



万歩計を使用したゲーム



美味しいナポリタン弁当



大好きな支援員さん、看護師さんと一緒に

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】令和5年12月23日。わらしべの家ではクリスマス会が開かれました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことを受けて、仲間の会長が開会の挨拶をした後にグループごとでマスク越しに「赤鼻のトナカイ」と「サンタが街にやってくる」を歌いました。食堂に響いた4年ぶりの歌声。「歌を歌いましょう」と言われたとき、ちよっと抵抗感がありました。4年も歌っていないかったんだ…とちよっと驚き、みんなの歌を聴いて、クリスマス気分を高めました。

オンラインの記録めざし万歩計でふりふり
 続いてゲームも動きがあるものが再登場しました。それは、5〜6人ずつ8グループごとに前に出てもらい、身体に万歩計をつけてできる限り動かし、30秒間にどれだけたくさんフリフリできたか、数を競う「万歩計でふりふりゲーム」です。クリスマスの音楽に合わせてリズムカルにジョギングしたり、手を振ったりして、オンラインならではの記録を目指しました。

おきあがりこぼしもピンゴも予測不可能！だからおもしろい
 3番目に、「おきあがりこぼしゲーム」を呼ばれた順に一定間隔をあけて、みんなで楽しみました。色とりどりのカラフルな風船とこちらも点数が書かれた色とりどりのカラフルな色画用紙が何枚も床に置いてあります。風船をポンと投げるとクルクルまわったり、コロコロリンと転がりながら点数が書かれた色画用紙の上に落ちます。点数が高い色画用紙を狙って投げるのですが、動きは予測できません。でも、おもしろい動きをしている風船を見ていると妙に人生と重なり合っているような気分になりました。

同じ方向を向いて座り、楽しんだのはピンゴ。次々に読み上げられる数字がすんなり並び、ピンゴとなる仲間もいけばなかなか数字がそろわない仲間もいました。みんな最後まで楽しんでる様子でした。ピンゴの景品は、クリスマススブレゼントとして選ばれていきま

1日早くサンタさん来訪
 ピンゴ大会のあと、仲間たちはマスク越しに「あわてんぼうのサンタクロース」を歌いました。その歌の通り、栃木市内にある「うめえもん」で注文した「ナポリタン弁当」を食べていたら、シュークリームのクリスマスプレゼントを渡すため、サンタさん来訪。あったかい気持ちになり、仲間たちはカメラマに笑顔をプレゼントしていました。仲間たちは午後12時30分過ぎ、サンタさんからもらえたプレゼントなどを大切そうに抱え「さよなら、お疲れ様でした。」といいながら、帰宅しました。



初冬の街へみんなで出かけました



太鼓の達人たち

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】
令和5年11月23日の勤労感謝の日にわらしべの家に通所してきた仲間は、食堂兼集会場のテーブルに集まり、なにやら相談を始めました。顔なじみの仲間は、生産活動の時とは違う満面の笑顔で、「どこ行きたい?」「迷っちゃう」そんな話をしながら行き先をまとめ、ドライブとお昼の買い出しに出かけました。
2度と来ない今を一瞬一瞬をたのしくグループごとに出かけるのは、初夏に行われたグループ別外出以来、5か月ぶり。仲間たちを乗せたわらしべの里所有車両は、壬生町にある道の駅や大平山、

栃木市のイオンモールなどのコースにわかれ、2度と来ない今を、一瞬一瞬を、たのしく過ごせたようです。グループの数だけ5通りの楽しみ方がありました。グループの中には、道の駅で「シルバニアファミリー」に会い、童心に戻った仲間たちや大平山山頂に近い謙信平から美しい景観を眺め、帰りながら、支援員さんが仲間たちひとりひとりに要望を聞き、1店ずつ付き添ってくれたグループもありました。
ランチをテイクアウト 笑顔咲く
正午前、わらしべの里の食堂には、ハンバーガーショップ、スーパーマーケット



UFOキャッチャーに挑戦!



シルバニアファミリーと笑顔の仲間

トなどから購入したテイクアウトの品々が所狭しと並んでいました。その前で微笑みを浮かべる仲間たち。自分で買ったお弁当は、格別ですよね。仲間たちは同じ方向を向いて座り、自分で購入したものをおいしく食べました。感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるため、食べ終わった順から自由解散となりました。



わらしべの家でハッピー・ハロウィン



ふたりで協力しているところ



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】朝と昼間の寒暖差から木の葉が色つき、モズのさえずりが聞こえる10月になりました。一方で世間ではハロウィン一色となっていますね。わらしべの家でも10月14日は重さあてゲームと坂道コロコロオバケ倒しゲームを楽しみました。コロナウイルス感染対策のため、4名ずつ食堂に呼ばれ少人数制で行われました。

200gは軽い？重い？
どうでしょう

坂道コロコロオバケ倒しゲームに挑戦！



プルの中央に置かれたかごは、プラスチックでできた貝殻、ヒトデをいれてピタリ200グラムにしています。仲間は、かごを多面的に眺め200グラムに近い重さにしようとおもりをかごに入れて計量の時を待ちます。「140g」、「180g」、「240g」と読み上げられる数字に仲間は喜んだり、悲しんだり、さまざま表情を浮かべていました。人の感覚って、それぞれですね。

オバケを倒せ
続いて坂道コロコロオバケ倒しゲームに挑戦しました。テーブルの隅にピラミッド状に重ねられた紙コップが見えます。「あれを倒すんだ」とボールを転がします。転がしたボールが紙コップのオバ

吉野家の牛丼セットをおいしく食べる仲間たち



ケに上手く当たると、重ねた紙コップのオバケが崩れ笑顔になりました。記録は、この日出席していた仲間の人数だけ28通り記録され、みんな大満足の表情を浮かべていました。

笑顔、満開
お昼前に表彰式が行われ、重さあてゲームで200gに近い重さにした上位5名に選ばれた仲間は、カメラマンに笑顔をプレゼントしていました。午前11時30分から同じ方向を向いて座り、事前に注文した吉野家の牛丼セットをおいしく食べました。感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるため、食べ終わった頃から自



248g! 「惜しい」



笑顔の表彰式

由解散となりました。





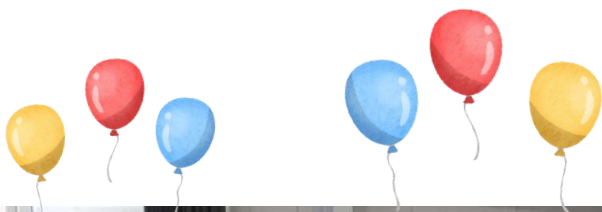
風船がおき上がりこぼしに変身？！



戦いを終えて、笑顔のふたり



はじめてのおき上がりこぼしシュートゲーム！高得点出るか？



笑顔の表彰式

【今回の記事は、パソコン工房所属の仲間・ペンネーム：PORRーがお伝えします】
 9月23日は、秋分の日のため祝日でお休みのはずですが、わらしべの里の作業室や食堂から物音や話し声が聞こえてきました。今日は、祝日の開所日なので職員さんが作業の合間にレクリエーション「おき上がりこぼしシュートゲーム」を企画してくれたためです。
 はじめてのおき上がりこぼしシュートゲーム色とりどりのカラフルな風船とこちらも点数が書かれた色とりどりのカラフルな色画用紙が何枚も床に置いてあります。風船にはビー玉が仕込んであり、可愛らしいおき上がりこぼしになっています。
 風船のおき上がりこぼしをポーンと投げ

るとクルクルまわったりコロコロリンと転がりながら点数が書かれた色画用紙の上に落ちます。点数が高い色画用紙を狙って投げるのですが、思うようには動いてくれません。でも、おもしろい動きを見ると楽しい愉快な気分になりました。
 お昼前に表彰式が行われ、点数の高い上位3名、点数の低い下位2名の合計5名が選ばれ、仲間たちはカメラマンに笑顔をプレゼントしていました。
 はじめてのレクリエーションでしたが、楽しむことができました。他の仲間たちからも、風船の動き方が予想外だった、風船投げ楽しかった、お外で風船を飛ばしたいなどの感想がありました。



「僕、楽しかったよ」



秋の日差しを浴びて、公園のゴミ拾い



丁寧に宝探し・・・。ゴミ拾うべく歩いています

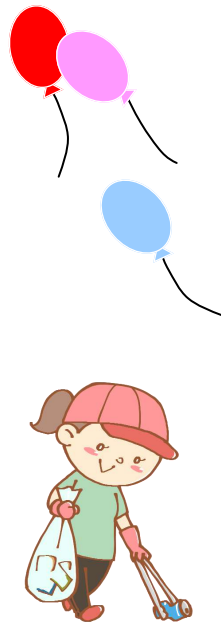


休憩中の仲間たち



笑顔でピース

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】
令和5年9月26日、柎木市総合運動公園で柎木市障害者施設協議会主催の恒例交流行事である清掃ボランティア（ゴミ拾い）が行われ、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことを受けて、柎木市内にあるいくつかの福祉サービス事業所が4年ぶりに集まりました。清掃ボランティアは、「柎木市総合運動公園内に捨てられたゴミを拾って、社会貢献しよう。歩いてダイエットもしよう」と平成17年からはじまり、「コロナ禍3年間の中断を経て令和5年で15回目の取り組みです。秋空と木々に見守られながら」



ました。宝探しのようにごみを探し、ゴミ箱ではないところへ捨てられた空き缶や紙ごみは、持ち帰りました。
清掃ボランティアに参加できたことに感謝
芝生広場には各事業所が2〜4メートルずつ距離を取り、入れ替わりながら休憩をして「おひさしぶりです」という声もあちらこちらから聞こえていました。広場にいくつもの円ができてある程度の賑わいを見せていることに「この光景がいいんだよね。清掃ボランティアに参加できたことに感謝しよう」と思いました。次回は、令和6年3月の予定だそうです。

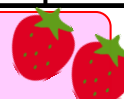
クリスマス会では、みんな楽しくケーキやご馳走を食べました。世話人さん、ありがとうございますー



グループホームでのクリスマス会の様子



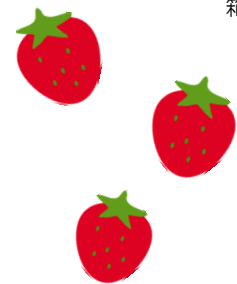
いちご作業 栃木市内の福祉施設と協力しあいながら取り組んでいます



出来上がった箱を積み上げています



箱折りしているところ



ちもいちごに関わっていると思うと、とても嬉しくなります。私たちの施設で組み立てた箱においしそうないちごがパツクにたくさん詰められて、お店にならんでいるんですよ！

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：PORR&混むがお伝えします】
JAからの委託契約事業により、毎年12月から翌年6月の時期は、いちごの作業があります。出荷時に規格外とされたいちごをジャムへ加工される前の工程として、葉と芯を取り除く作業を各施設が担当し取り組んでいます。最盛期の3月～4月にかけては、1日取り組んでようやく終わるくらいの量を毎日行っています。

甘酸っぱいかおりとともに
わらしべの家では、作業を細分化し、葉の部分を取る係と芯を切り取る係にわかれ、効率よくまた無理のないようにそれぞれの仲間が取り組んでいます。刃物を使う場面もあるので、仲間たちが安心・安全に作業に取り組めるように、間違えのないように支援員さん

は見守りながら作業をしています。混むは苺も苺のショートケーキなどの甘いおやつが大好きですが、太らないように毎日は食べないように気を付けています。パソコンのキーボードをたたきながら、いちご作業から戻ってきた仲間たちからいちごの甘酸っぱいかおりが漂ってくる、「いちごの季節がやってきた」と心躍ります。

みんなで折った箱が店先に
更にわらしべの家では、収穫時期に合わせて、いちごの箱折り作業もあります。手早く箱を組み立てていく音を聞き始めると、あっという間に箱が組み上がり、部屋中にビルが何棟も立ったような光景が広がります。いちご農家に「納品してほしい」と連絡が入ると自動車に積み込み持って行きます。

栃木県は「いちご」が有名ですが、自分たちもいちごに関わっていると思うと、とても嬉しくなります。私たちの施設で組み立てた箱においしそうないちごがパツクにたくさん詰められて、お店にならんでいるんですよ！



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第59号(通巻73号)
※ 財団法人時代から数えて第73号となります
発行元 社会福祉法人わらしべの里
発行責任者 大橋 誠
〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
電話 0282-27-1627
Fax 0282-27-1675
E-mail warashibenosato@cc9.ne.jp (事務所)
https://www.warashibenosato.com

わらしべの家

検索



〜 編集後記 〜
新年を迎えたと思ったら、すでに春の気配：春らんまんの日々が待ち遠しいですね。
今回の通信には、昨年9月からの行事や出来事を載せました。秋は公園清掃ボランティア、冬はクリスマス会、初詣、節分：楽しいことがたくさんありました。
このこと以外にも行事がありました。誌面のスペースが足りず載せられなかったので、わらしべの里ホームページを是非、ご覧くださいね！（範）